

# 平成21年 明けましておめでとうございます

月刊

# さわやか

第21号  
平成21年1月15日

《発行》  
(社)日野市シルバー  
人材センター  
日野市日野本町2-4-7  
0421581-8171

## 新年を迎えて 会長 井口義雄



明けましておめでとうございます。会員の皆様には、清々しい思いで新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は設立30周年に際し、連するいろいろな行事にセンターの組織を挙げてのご協力とご支援をいただき、無事に遂行できましたことに、まずは感謝申し上げます。

本年度中はまだいくつかの行事が控えており、引き続きのご協力をお願いいたします。

い申し上げます。

30周年という大きな節目を迎え、諸先輩が築き上げてきたシルバー人材センターをさらに発展させ、健康で働く意欲のある高齢者の受け皿としての立ち場を認識し、就業とボランティア活動を通じて、自らの生きがい就業と地域への貢献を果たしていくことが、われわれに課せられた役割であることを改めて確認したいと思います。

### 接遇の精神でサービス

特に公共分野で就業される皆様、地域の皆様ならびに市民の方々への対応は、接遇の精神を忘れることなく、シルバー人材センター会員として、行政サービスの一端を担う自覚と認識が極めて大切であります。

市民の方々のシルバー人材センターに対する評価も、ひとえにこの一点に懸かっていると云っても過言ではありません。

### 会員数

平成20年11月30日

1,638名  
男性 1,252名  
女性 386名  
入会者数  
11月 14名  
(男12名、女2名)  
但し、退会者 14名

センターとしても具体的な施策を展開中ではありますが、同時に変革期を迎えるセンターにとつて、本年こそセンターが一丸となつて本来のセンターの姿を發揮し、市民の方々から快く受け入れられる爽やかな年になることを念願して止みません。

本年も皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



## 理事・職員が 公共施設を巡回

理事会の申し合わせにより、12月上・中旬、理事と事務局職員がチームを組んで、会員が就業している公共施設を巡回しました。1チーム3、4名の構成で、計6チームが四十数カ所の職場を3回づつ視察しました。

この試みは、就業会員の接遇（接客マナー）に対する市民の苦情が相変わらず無くならないという実情をふまえ、また理事会側も現場への認識をさらに深めるために実施されたものです。

## 市庁舎に立派な門松

### 植木班が心こめ贈り物

今年も市庁舎玄関前に立派な門松がお目見えしました。当センターの植木班が休日返上で心を込めて作製し、お世話になっている市にプレゼントしました。

(写真上)

お断り 前号1面掲載の写真2枚「万歳三唱」「村上敏明氏」は、ともに小池一清氏の撮影でした。



### 新年のご挨拶

「市民のあんしん力を高めよう」

日野市長 馬場 弘融

明けましておめでとございます。日野市シルバー人材センター役員並びに会員の皆様には、平成二十一・二五(つちのとうし)年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から、それぞれの業務はもとより自治会など団体活動を通じ、市政運営にご協力いただき感謝いたします。

また昨秋は、設立30周年の記念式典が盛大に挙行されました。あらためてお慶び申し上げます。この間、役員及び会員各位のご努力で、会員数も契約高も大きく成長しておりご同慶にたえません。

社会の長寿化が進むなか仕事を続けたい高齢者が増えていきます。加えて団塊の世代の方々が多数地域に戻ってきます。シルバー人材センターは、彼らの最大の受け皿として期待されています。

ます。新しい分野の開拓、特に女性が活躍できる分野を広げてほしい。保育や子育て分野は、核家族化が進む今大きな可能性を秘めていると思うのです。さて、厳しい金融不況のなかで日本中が萎縮し、殺伐とした世相になっています。でもこんな時こそ上を向いて歩きたい。市民が安心して前向きに暮らせるよう、セーフティネットとしての自治体の役割を再確認したいと思います。

そこで今年の市政テーマを、「市民のあんしん力を高めよう」としました。干支も丑です。牛はのろいけれど前に進み続けま

す。市民のあんしん力を高めるため腰を落ち着けて取り組みたいところです。

むすびに、シルバー人材センターのさらなる発展と、会員各位のご多幸をお祈り申し上げます。

### 秋の会員研修旅行

### 心なごむ中伊豆の旅

12月2日、2台のバスに75人が分乗して出発。最初の目的地、御殿場市の秩父宮記念公園に到着したころには、お天気も快晴に。

享保8年(1723年)建造の母屋、殿下が過ごされた木々に囲まれた建物を見学し、庭園を散策。質素なお暮らしが偲ばれた。

畑毛温泉で昼食後、三島大社を参拝。強い日差しに「葵」の瓦が輝いていた。次に向かった柿田川湧水池は、富士山の雨水が集めて

1日70〜100万トンの湧水があり、全長1.2kmで狩野川に注いでいる。緑に囲まれ澄み切った湧水池は、魚や野鳥がのんびり暮らす素晴らしい環境だった。

帰りの車中は「ビンゴ」で盛り上がりました。(渡辺由起子)



秩父宮記念公園で

### 理事会ニュース

#### 第9回理事会 12月25日

- ・審議事項 正会員の入会、職員給与規程の一部改正、仕事別(職場)グループ設置等の一部改正
- ・報告事項 家具転倒防止器具等助成事業について、11月事業実績、各専門部会・安全管理委員会の報告

「訂正」前号本欄で第9回理事会の日付が11月30日となっていました。11月28日の誤りでした。

#### 「センター」行事日程

- 1月15日(木) 地域班長会議
- 生活・保健センター

役員・地域班長合同研修  
東京都浅川水再生センターを見学 24名参加(12月16日)  
日野市石田にあるこのセンターは、日野市の大部分と八王子市の一部の汚水処理しています。

#### 配分金の支払日

- 1月20日(火)
- 2月20日(金)
- 3月19日(木)
- 4月20日(月)
- 5月20日(水)
- 6月19日(金)
- 7月17日(金)

# リサイクル・フェア

今年2回目 雨の中開催



再生自転車のコーナー

平成20年6月8日のリサイクル・フェアに続き、今年度2度目のフェアが12月14日(日)、リサイクル事務所で開催されました。これまでのセンター(専門部会)主催に対し、今回はリサイクル事務所の主催。  
 同事務所前の広場に12張りのテントが並び、各専門部会や事務局、手芸・山野草班、紙すき・刃物研ぎグループなどが出店しました。

残念ながら早朝から雨。来場者の出足がにぶる中、目玉の再

生自転車には20台限定販売のところ100名以上の方が詰めかけました。今回は希望者全員に抽選参加の整理券を交付し、抽選では当選順位をつけ、順位の早い人から希望の自転車を選

択できるようにしました。また、JA日野による地場野菜の販売も賑わっていました。

**地区リーダー・担当理事 合同会議** 今年度第2回

今年度2度目の地区リーダー・担当理事合同会議が12月15日、センター会議室でおこなわれました。各専門部長から上半期の活動状況の報告があった後、各地区リーダー・担当理事から「地域班長連絡会」(ブロック会議)の状況や問題点の報告、発言がありました。

## 地区をブロックに名称変更

右の会議で、従来の「地区」は「ブロック」に変更し、「地域班長連絡会」は「ブロック会議」とすることが報告されました。11月の理事会決定によるもので、きたる4月1日から施行されます。

## 民間事業の比重高まる 家事援助の拡大も課題に

今年度の事業計画を推進するにあたり、国をはじめ行政の補助金縮減傾向への対応策として、とりわけ民間事業での就業拡大が、重要テーマとなっています。公共から民間へ、シルバー人材センターを取り巻く事業環境が変化しています。今年度(4月11月)実績で、公民間の契約比率は約4対6と、民間の比重が高まっています(表参照)。

事業推進グループ(旧就業開拓専門員)の活動状況は、今年度の民間部門実績で、テレフォン・サービスでの就業者募集(求人数)106名。職種の内訳は清掃45名、食堂・スーパー等の調理補助22名、当直・送迎用車両運転21名の順ですが、製造業の技術・技能に対する人材のご要望も少なくありません。公共部門と異なる点では、受

契約金額の公民比率

	前年度	今年度(4~11月)
公共事業	46.4%	44.2%
民間事業	53.6%	55.8%

付・管理の仕事はありません。また、従来型の単純作業から「軽度の技術」を伴った仕事が増加傾向にあると思われます。

こうした就業情報は、毎月の新入会員研修会で紹介し、就業希望選択リストに添えていただき、お急ぎのお客様に対応できる改善も併せ進めています。

更なる改善点は、家事援助サービス事業です。女性会員の活躍分野でもあり、今後の就業拡大が期待されています。

(高良学、糸井運平)

### それってなに?

#### 接遇

一般にはなじみの薄い言葉ですが、辞書によれば「もてなし、接待、応接」の意。主として役所・鉄道関係の用語といわれ、市民や乗客に対する応接マナーの意味で使われているようです。シルバー人材センターでもこの用語が使われており、会員研修会や就業期限確認書交付式などでは講師による「接遇研修」の時間が設けられています。その際、講師によつては接遇を「接客マナー」「就業マナー」等に言い換える場合もあります。

「転倒防止のために、足指力強化とストレッチを」

### 「体力向上事業」を開始 東京しごと財団

「体力向上事業」といっても、お金儲けの事業ではありません。シルバー人材センターの安全管理活動の一環で、「転倒防止のために、足指力強化とストレッチを」と呼びかける新規の「事業」です。主催は東京しごと財団。

12月10日、府中市ふれあい会館でおこなわれた説明会とデモンストラクション（実習）に参加しました。



インストラクターによる実習

は最多。転倒事故をなくすことが安全対策の大きな課題です。しごと財団の女性説明員が声を張り上げます。そこで、転倒防止に効果のある足指力とバランス能力を強化するため、効果的な運動やストレッチの実施を呼びかけることに。

説明に続いてデモンストラクションの開始。やはり女性のインストラクターが開眼片足立ち足指力の測定、ストレッチ体操などを指導します（写真参照）。都合およそ2時間。

### 実施会場へインストラクター3名を派遣

この「体力向上事業」は、会員の皆様が参加しやすいようにしごと財団のインストラクター3名が実習を希望する各SCに出向いて実施するシステム。各SC側は実施会場を確保した上で、1週間前までにインストラクターの派遣を申し込みます。実習1回の参加者数は20人程度。

### 全シ協「ニューズ」を配布

#### 安全推進員全員に毎月

当センター安全管理委員会で、全シ協（全国シルバー人材センター事業協会）が毎月発行している「安全・適正就業ニューズ」を、安全管理委員だけでなく、各職場の安全推進員90名余の全員に配布しています。「事故情報の周知こそ安全就業の原点」との信念のもと、今年度下期から開始しました。

## 設立30周年記念 生きがいフォーラム

平成21年3月7日（土）午後1時～3時半  
生活・保健センター 3階集会室

講演：望月照彦氏（多摩大学大学院教授）  
演題：「シルバー世代の生きがいと社会的役割」

アトラクション：日野市ギター・サークル  
会員発表「私のシルバー体験」

### 猫と夕焼け

杉江 訓子

「あっ、しまった。キャットフードがもうなかったんだ。買物に行かなきゃ」

三匹の猫の食事は大変だ。急いで駅近くのスーパーに出かけた。猫砂<sup>トイレットペーパー</sup> 缶詰<sup>缶詰</sup>九個、キャットフード一袋。これだけで買物カートはかなり重い。三日はもつかしら。

間もなく六時。カートをゴロゴロ引いて帰る途中、西の空に不思議な赤色の雲が青灰色の雲に沿って長く伸びていた。立ち並ぶマンションはシルエツトになり、「きれい」と思わず声が出て、しばらく見とれていた。

「おっといけない」猫達が首を長くしてごはんを待っている。急いで家に帰ると、猫達はいつものごはんの場所を遠巻きにしてちよこんとすわって待っていた。

「はいはい、わかったよ」と缶をバカツと開けるのは毎度のことである。

もうこの時は、美しい夕焼けのことはすっかり忘れて私である。